



令和5年2月1日発行

第69号

ながわまち

議会だより

■発行／長野県小県郡長和町議会■

■編集／広報常任委員会■

★応募要領は、中央ページ(M)にあります。

議会だよりモニターを拡大して
「議会モニター」設置！
第1期10名を募集します！！



●長和町議会 令和4年12月定例会

◇ 町長提案理由の説明	2
◇ 審議結果	3
◇ 議会全員協議会	5
◇ 常任委員会審査報告	6
◇ 一般質問	8
◇ 議会研修会／委員会視察	16
◇ 長和町「あの人を訪ねて」	20

★3年ぶりに「おたや祭」に賑わいが戻った！★

(令和5年1月14日)

(19ページに写真の説明を掲載しています)

12月議会

長和町議会 令和4年12月第4回定例会が、長和町役場議場に於いて、12月2日(金)から12月15日(木)までの14日間の会期で開催され、報告8件、発議1件、発委1件、承認1件、条例案19件、令和4年度補正予算案8件、人事案1件、陳情2件、意見書案2件、その他3件について審議を行いました。また、7名の議員が一般質問を行いました。



羽田健一郎 町長

一昨年から猛威を振るっている新型コロナウイルス感染症については、皆様のご協力でワクチン接種が進み、落ち着いてきたかと思われましたが、県内では11月以降、第7波を上回るような感染の急拡大が進んでいます。また、9月26日からは、それまで行われておりました市町村ご

私も5期目の任期の1年が過ぎましたが、引き続き町民の皆様誰もが「しあわせ感」を実感できるように、これからも今まで以上に全力で町政の運営に取り組んで参ります。激甚化する気象災害や新型コロナウイルス感染症への対応、ロシアによるウクライナ侵攻、これに起因する物価の上昇と急激な円安など、国内世界情勢は大きな変革期を迎えております。

コロナ対応については県と連携して万全を期す

私もおまいます。当町においても、これらの状況をしっかりと確認すると共に、適切な対応を参りますので、ご理解、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

町長提案理由の説明

誰もが「しあわせ感」を実感できる町政運営に全力で取り組みます

との感染者数の公表が終了となり、現在は上田地域の感染者数として発表され、町としても対応が難しい状況にありますが、長野県と連携し対応については万全を期してまいります。

また、オミクロン株に対応したワクチン接種も進んできておりますが、新たな変異株の出現も予想されるため、最新の情報を常に収集し、感染状況を確認しながら対応をしていきます。

価格高騰対応・困窮世帯支援等の補正予算

令和4年11月11日付けで専決処分した令和4年度補正予算、承認第11号「長和町一般会計補正予算(第8号)について」は、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業、電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援事業、新型コロナウイルスワクチン接種関連事業、長野県生活困窮世

帯緊急支援金事業に係る補正が主なもので、一般会計全体では9350万8千円の補正増となり、補正後の予算総額は、66億5758万8千円であります。

光熱水費の価格高騰に伴う補正予算を計上

議案第87号「長和町一般会計補正予算(第9号)」については、各予算科目とも光熱水費の価格高騰に伴う補正などで、議会費では議場用無線LANの整備及び事務用備品購入による増、総務管理費では気候非常事態宣言に伴う実行計画策定に向け委託料の増額補正を計上。徴税費では地方税共通納税システムの改修を、選挙費では長野県議会議員選挙に係る経費をそれぞれ増額。災害復旧費では、設計単価の値上げに伴う増工見込みによる補正などを計上させていただきます。

(抜粋)

令和4年12月 第4回定例会 審議結果

令和4年12月長和町議会第4回定例会において審議された議案は、発委1件、条例1件が賛成多数で、他は全員賛成により、承認・可決・同意されました。以下に、審議された議案とその主な内容を抜粋して掲載します。(すべての審議結果は議会HPをご覧ください。)

◇報告(8件)

- ・(株)長和町振興公社第24期決算について／(株)長和町振興公社第25期事業計画について
 - ★事業を収益部門と福祉部門に分け、やすらぎの湯、足湯、ふれあいの湯、ケーブルテレビを(株)長和町振興公社が担うこととなった。これらの部門における決算では、10月に入浴料を値上げ、コロナ禍の助成金2,600万円を含めても、当期純損失268万円の実績であり、厳しい経営となった。第25期では、お客様第一を基本に、長和町の温泉施設として、住民の健康維持増進に貢献していくとする。
- ・長和町教育委員会の点検・評価報告
 - ★法律により、教育委員会の事務の管理及び執行状況について点検評価し、その結果報告書を議会に提出するとともに公表することが義務づけられている。令和3年度の主要施策について、現状と問題点、事業とその成果、今後の課題について検証と自己評価を行った。

◇発委(1件)

- ・長和町議会委員会条例の一部を改正する条例について
 - ★いわゆる「オンライン会議」により委員会を開催することについて、委員会開催の特例として第13条の2を加える。新型コロナウイルス感染症対策や大規模災害、育児、介護等、やむを得ない事由により委員が開催場所への参集が困難なときでも、委員会を開催できるようにするもの。

◇承認(1件)

- ・専決処分した令和4年度長和町一般会計補正予算(第8号)の承認について
 - ➡5ページに、全員協議会での審議を掲載しました。

◇条例(19件)

- ・議案第75号 長和町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について
～議案第85号 長和町職員の懲戒に関する条例の一部を改正する条例について
 - ★地方公務員法等の一部改正により、現在60歳である職員の定年が、令和5年度から2年に1歳ずつ65歳まで段階的に引き上げられる。これに伴い、課長補佐以上の管理監督職が勤務上限年齢(60歳)に達した年度後の降任及び転任、並びに定年前再任用短時間勤務の制度が設けられたこと等に対応する関係条例の改正。

◇補正予算(8件)

- ・令和4年度長和町一般会計補正予算(第9号)について
 - ➡6～7ページに、常任委員会での審査内容を抜粋して掲載しました。
- ・令和4年度長和町一般会計補正予算(第10号)について
 - ★長和町の黒耀石及び黒耀石鉱山遺跡の文化財としての重要性について、町民の理解を深めるとともに、歴史遺産を活かした地域教育の推進と町の情報発信、観光振興に寄与することを目的として、令和5年3月26日にドキュメンタリー映画「掘る女 縄文人の落とし物」を町内で上映するための補正。

◇その他(3件)

- ・上田地域広域連合規約の変更について
 - ★上田地域広域連合規約について、次期広域計画の策定に向け、令和5年4月より広域連合の所管する大星斎場と依田窪斎場の利用区域を廃止し、負担割合を統一する。また、地域医療対策に関する事業項目を明確化するもの。広域連合議会での議決の前に、構成市町村議会の議決を要する。

◇人事案（1件）

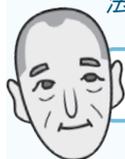
- ・長和町教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて
 - ★法律の規定により、小林節子さん（大出：再任）を教育委員に適任とすることに同意。

◇陳情（2件）／◇意見書（2件）

- ・免税軽油制度の継続を求める意見書 陳情者：(株)マウント長和 代表取締役 小林和夫
 - ★軽油引取税の課税免除の特例措置が令和6年3月末で廃止される。スキー場産業では、索道事業者が使うゲレンデ整備車及び降雪機に使う軽油に対して適用されており、廃止により大きな負担増となり、経営の維持が困難となり、地域経済にも影響が出るおそれがある。よって、免税軽油制度の継続を要望する。
- ・安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める意見書
 - 陳情者：長野県医療労働組合連合会 執行委員長 小林吟子
 - ★新型コロナウイルスの感染拡大による医療崩壊、介護崩壊は、他の先進諸国に比べ少ない医師、看護師、介護職員や保健師の不足に原因がある。よって、医師、看護師などの配置基準を見直し、増員を図ること、労働環境を抜本的に改善すること、公立・公的病院を拡充強化することなどを求める。

☆長和町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について

- ★地方分権の進展に伴い、地方行政の高度化・専門化が進む中で、行政部内では得られにくい高度の専門性や優れた識見を有する人材を活用する必要性が高まっていることに伴い、5年もしくは3年を超えない範囲で必要な人材を採用することができるよう、国の一般職の任期付職員の採用に関する法律に基づき、条例を新たに制定する。



賛成討論 小川純夫 議員

大きな自治体では専門的部署がありますが、小さな町ではなかなか専門的な職員は育てにくい。かねてから、特に土木関係、建設関係あるいはIT関係、その他特殊な技術を要する部門というのは町にやや不足しており、建設関係などからは、役場に分かっている人がいないと言われることもあります。したがって、遅きに失してはいますが、是非専門的な方を採用して実際に事務に当たって頂き、同時に後継者を育成して頂くことが町政にとって大変大事なことではないかと思えます。一般の職員は、3年4年すると異動します。是非この条例を活用して、専門的技術的な職員を育てて頂きますようお願いして、賛成討論とします。（要旨）



反対討論 渡辺久人 議員

本案に反対の立場で討論させて頂きます。私は委員会審査の中で、定年制度の変更に絡み、勤務延長や再任用制度の質問をし、今まで後継者等の育成が足りていなかったのではないかと意見を申し上げました。それから10日ばかりの間にこの条例が作成されたように感じ、今質問してみてもやはり答弁が曖昧で、やや疑心暗鬼になります。私は、従来通りの再任用の制度を用い、3年以内に次の方をとというような制度で良いのではないかと考えることから、本案に反対とします。（要旨）

★議案に対する議員の賛否結果 《賛成◎、反対⊖、議長は表決に加わらないー》（賛否の分かれたもののみ掲載）

議案	表決結果	阿部由紀子	龍野一幸	荻野友一	佐藤恵一	田福光規	羽田公夫	原田恵召	小川純夫	渡辺久人	森田公明
長和町議会委員会条例の一部を改正する条例について	可決	◎	◎	◎	⊖	◎	◎	◎	◎	◎	—
長和町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について	可決	◎	⊖	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⊖	—

議会全員協議

「新型コロナウイルスに関する交付金事業」「(国)電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援給付金事業」「(県)生活困窮世帯緊急支援金事業」などの協議を行いました。

■議会全員協議会は、町政に関する重要案件や議会の事項について報告・協議するため、緊急を要する議題について議会の了承を得る必要がある時など、必要に応じて開催されます。

12月議会に上程された承認「専決処分した令和4年度長和町一般会計補正予算(第8号)」については、11月10日(木)に議会全員協議会を開催して協議を行いました。協議の内容を抜粋してお知らせします。

■新型コロナウイルスに関する交付金事業について
物価高騰の影響を受けた生活者や事業者の支援を目的とする事業を実施する。5事業3767万7千円で計画し、11月11日に専決措置する必要から、議会全員協議会で説明協議することとした。

■福祉事業所エネルギー価格高騰対策支援事業Ⅱ町内12カ所の介護福祉サービス事業所に、電気・燃料・ガ

ス等の高騰分の2/3を補助する。787万6千円

■高騰分の2/3とした理由は、

■財源が決まっていることから、担当課で検討した。

■長和町宿泊施設燃料高騰支援事業Ⅱ町内の宿泊施設の燃料価格高騰に対する一部支援。300万円

■町内公衆浴場燃料高騰支援事業Ⅱ2つの温泉施設で使用する灯油経費増に対する支援。750万円

■医療機関に対する物価高騰対策支援事業Ⅱ病院、診療所、薬局の燃料価格高騰分を支援。1680万円

■バス事業者支援事業Ⅱ燃料価格高騰分。250万円

■ごみ収集業者やシルバール材センターの皆さんも燃

料高騰に苦慮している。その辺りの配慮はどうか。

■ごみ収集業者についてはこの後検討したい。シルバールについては単価変更等に対応していく。

■電力・ガス・食料品等価格高騰緊急支援交付金事業
国の事業で、急激な物価上昇によって家計に影響を受けている低所得者世帯に一世帯5万円を給付する。

■長野県・長和町生活困窮世帯緊急支援金事業
国の事業に該当しない低所得者向けに一世帯3万円を支給する県の事業。

■2つの事業とも家計急変世帯が見込まれていて、自己申告だが、どのように周知するのか。

■広報とHP等で知らせていく。

■新型コロナウイルス接種事業について
オミクロン株対応ワクチンの追加接種、小児の3回目接種、6カ月〜4歳の乳幼児への初回接種を行う。

■小児、乳幼児の接種会場はどこか。

■保健センター2階か、病院の小児科を考えている。

■子どもの福祉サービスについて
特性のある子どもたちが安心して放課後や長期休暇を過ごす場所が求められているが、依田窪地域には事業所がない。樫の木福祉会では、児童発達支援、小学生から高校生を対象とした放課後等デイサービスを令和5年4月より開始できる

■町民体育館を選定した理由は、

■対象となる時間に使える施設で、修繕等の状況を見て決めた。

■よう計画している。施設は令和7年を目途に古町の山の子学園隣接地に建設する予定だが、それまでの間、町民体育館の一部を利用して事業を始めたい。

■町民体育館を選定した理由は、



山の子学園共同村(古町)

総務経済常任委員会審査報告



原田恵召 委員長

総務経済常任委員会

委員長／原田 恵召
副委員長／佐藤 恵一
委員／龍野 一幸
小川 純夫
渡辺 久人

総務経済常任委員会は、12月8日(木)に開催され、条例案15件、補正予算案5件、その他案2件、陳情1件について審査を行い、すべての議案が全員賛成で可決、採択すべきものと決定されました。

長和町職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例について

■ 地方公務員法の改正等により、地方公務員の定年が令和5年度から段階的に2年に1歳ずつ65歳まで引き上げられることに伴う条例改正。

■ 延長でもなく勤務延長の職員がいるが、勤務延長とは。

■ 引き上げは令和5年から始まるのか。定年から始まるのか。

■ 令和6年度から始まる。勤務延長は、条例で定めてあり、定年を越えて63歳まで役職等に就くことができる特例措置である。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第9号)について

既定の予算総額に67億60万8千円を追加し、予算総額を67億2519万6千円とする。

■ 議場用無線LAN工事、PC購入費等で169万4千円の増。

■ PC購入40万円について、用途の詳細は。

■ 「議会だより」作成のため。現在個人のPCで作成しており、作成費用は印刷代のみで近

■ 隣町村の半分位で済んでいる。経費を削減するために備品購入をお願いしたい。

■ 各支所の防災用備蓄品として保存食と水の購入128万円の増。
■ 各支所にオムツは備蓄されているか。役場

庁舎にはどうか。

■ 大人・子どものオムツ、生理用品、ミルクは、すでに購入して備蓄してある。役場にも備蓄されている。

■ 現在任期中の長和町地域おこし協力隊員は4名か。

■ まちづくり政策係に4名、商工観光係に2名、文化財係に1名が所属している。

■ ケーブルテレビ施設運営費の組替と8万1千円の増。

■ ゆいねつとは来年度以降も(株)振興公社に業務委託するのか。タイムリーな話題の放送やオンデマンド、生中継などへの取り組みは。

■ (株)振興公社への委託はあり方検討委員会で検討したい。町で番組制作業務を行う場合には、社員の処遇の検討や、新規の加入者の増加が見込めない中で将

来を見越した適正な人員・機材による運営も検討しなければならぬ。来年度も今年度と同様の運営をしながら検討していきたい。

■ 農業振興費で獣害防止柵1千万円の増。

■ 長門牧場周辺の大規模

令和4年度長和町観光施設事業特別会計補正予算(第2号)について

■ 財産売払収入37万2千円の増。

■ 動産売払収入の内容は。その区画に別荘は建築されるのか。

■ 販売された区画は学者村で、372㎡×売

長和町過疎地域持続的発展計画の変更について(令和3年9月策定)

■ 令和4年3月に公共施設等総合管理計画を改訂、その内容に合わせ、文言の変更と、「交通施設の整備、交通手段の確保」に「農道の新設」を追加する。

■ この計画は過疎債を借りるための計画で、必要に応じて変更していきたい。

模農家が5kmの獣害柵を設置することだが、維持管理などは誰が行うのか。

■ 長門牧場内で土地を借り耕作を行っている3件の農業者が維持管理を行う。

■ 払単価2千円、7万4千円で販売。販売会社が1/2を事務手数料として納入。隣接者が購入したので別荘の建築予定はない。

(抜粋)

社会文教常任委員会審査報告



田福光規 委員長

社会文教常任委員会

委員長／田福 光規
副委員長／荻野 友一
委員／阿部 由紀子
羽田 公夫
森田 公明

社会文教常任委員会は、12月9日(金)に開催され、条例案1件、補正予算案3件、陳情1件について審査を行い、すべての議案が全員賛成で可決、採択すべきものと決定されました。

令和4年度長和町一般会計補正予算(第9号)について

■ 地域猫管理活動支援事業補助25万円の増

問 この増額で、申請分に対応できるのか。

答 地域で野良猫が増えないよう見守るため、野良猫の世話をする方や区長さんに申請を行って頂いている。予算は5千円×50頭分、既に申し込みが多数あり現時点で31頭分増を見込むが、足りない可能性があり、当初予算と同額の増とした。

■ 和田保育園賄材材料費24万円の増

問 物価高騰に伴って保育園の食材費への影響はないか。

答 和田保育園は賄材材料費の増額補正で、園児数の増によるものに物

価高騰での増額分も含めて計上した。なかと保育園は、物価高騰の影響はあるが予算の中で運用できている。

■ 黒耀石体験ミュージアム入館料255万4

令和4年度長和町国民健康保険特別会計(事業勘定)補正予算(第2号)について

■ 保険税還付金及び還付加算金70万円の増

問 過去5年遡って国保税を還付するが、対象者が社会保険に加入したのはいつか。また、件数は何件か。

答 件数は1件で、平成29年に社会保険に加入している。

問 社会保険に加入した場合、国保資格の喪失手続きは加入者がしなければならぬのか。

千円の増。

問 入館者数増の実数と利用者層の傾向は。

答 入館者数は、11月末で1万8833名を数え、平成30年度の年間入館者数を超えた。入館者の傾向は、個人で訪れる大人の割合が大きく伸びており、それが記念品売上げの増加にもつながっている。

令和4年度長和町介護保険特別会計補正予算(第2号)について

■ 施設介護サービス給付費1千万円の増

問 利用人数はどのくらい増えたのか。

答 短期入所の利用等もあり、現在人数を把握することは難しい。

問 施設サービスとは。
答 常時介護が必要で在宅での生活が困難な人

が利用する「特別養護老人ホーム」、状態が安定している人が在宅復帰できるよう支援するための「介護老人保健施設」、長期の療養を必要とする人で医療と介護が必要な方が利用する「介護医療院」がある。(抜粋)

★ 語句解説 ★

問 「地域猫活動」とは。

答 飼い主のいない猫を放置せず許容し、「地域猫」として管理、猫と地域の共生を目指す。去勢・不妊手術を行い、耳に小さくV字カットを入れる。



依田窪老人保健施設「いこい」

1, 田福 光規 議員 …………… P.9

- (1) 長和町正規職員、会計年度任用職員、包括業務委託の現状と今後の課題、定年延長制度への対応について
- (2) 当町でのサバイバル・ゲームの実施について

2, 阿部 由紀子 議員 …………… P.10

- (1) 保育園のオムツ持ち帰りシステムについて
- (2) 町内における独身者向け住まいについて
- (3) 高校生の通学の利便性について

3, 渡辺 久人 議員 …………… P.11

- (1) 国民保護法、国民保護計画について
- (2) 新 (株)長和町振興公社の状況について

4, 龍野 一幸 議員 …………… P.12

- (1) 中山間地農業の今後について
- (2) 獣害と農業の今後について
- (3) 空き家と空き地の今後について

5, 荻野 友一 議員 …………… P.13

- (1) 長和町が誇る「黒耀石歴史遺産」活用の将来構想について
- (2) 長和町におけるカーボンニュートラルへの取り組みはどのように進めるのか

6, 原田 恵召 議員 …………… P.14

- (1) コロナ禍における町の対応について(その2)
- (2) 災害復旧の現状と流された私有地の対応について
- (3) ペレットストーブ購入補助の状況と薪ストーブの購入補助について
- (4) 転入者への自治会・区へ加入等の案内・説明について

7, 佐藤 恵一 議員 …………… P.15

- (1) 有機学校給食を通じた地域経済循環
- (2) 再生エネルギーへの取組と景観条例
- (3) 森林の間伐材を利用した温泉の化石燃料併設型薪ボイラー

質一般

7人の議員が町政を問う！

12月定例会では、12月6日(火)12月7日(水)に一般質問が行われ、7人の議員が町の課題について質しました。

★議員の質問時間は、答弁を含め60分以内です。「議会だより」では、誌面の都合上、質問議員が質問と答弁を要約して掲載しています。



田福 光規
議員

当町でのサバイバル・ゲームの実施について

サバイバル・ゲームを実施した団体は

長和町スポーツコミッションである

問 ブランシユたかやまスキー場の駐車場で、サバイバル・ゲーム（いわゆるサバゲー）が実施されたことに対し、町内の皆さんからの非難の声を聞いている。このサバゲーとは、どんなもので、どういう団体が実施しているのか。

答 町長 サバイバルゲームはエアソフトガン（遊戯銃）を使用して撃ち合う、大人の陣取りゲーム。実施団体は、長和町スポーツコミッションである。

問 長和町スポーツコミッションとは、どのような団体か。

答 産業振興課長 長和町スポーツコミッションは令和3年3月に設立され、スポ

ーツを通じて地域の魅力を再発見し、交流人口の拡大を図りスポーツ振興と地域経済の活性化を図ること、藤森由香氏に継ぐ長和町出身オリンピアンを輩出することを目的としている。令和3年度には、スポーツ庁の「スポーツによる地域活性化推進事業」を活用し、Eバイク導入によるレンタサイクル事業を実施、今年

度はスキー場の夏場利用を目的としたサバイバルゲーム事業（3回のイベント）を実施し、毎回20名程度の参加があった。構成メンバーは、長和町、ブランシユたかやまスキーリゾート、長和町商工会、信州・長和町観光協会等で構成されている。町も長和町スポーツコミッションの各種事業について支援している。

子どもの教育上、大問題である

町として、事業の在り方を再検証する

問 サバイバルゲームは、銃を用いた戦争ゲーム”である。「長和スポーツコミッション」の設立目的には、私も大賛成だが、ロシアに

よるウクライナへの悲惨な武力侵略が行われている中で、子育て日本一”を指すことを表明している当町内でサバゲーが行われたこ

とは、子どもの教育上も大問題であると思います。サバゲーを実施したこと、そして、来年度以降も継続して実施していくことに対する、町の考えは。

答 副町長 サバイバルゲームは、スポーツ庁の「スポーツによる地域活性化推進事業」の「経営多角化支援」において実施する事業として

位置付けている。子どもの教育上の問題については、地域の皆様にサバイバルゲームに関して理解を深めていただくような施策を長和町スポーツコミッションにおいて研究検討する方針であるので、町として、この事業の在り方を再検証していきたいと考えている。

（抜粋）



サバイバル・ゲーム



阿部 由紀子
議員

保育園のオムツ持ち帰りシステムについて

約7割の保護者が持ち帰り廃止を望むが

実施内容を調整し、前向きに検討している

問 令和4年3月に全国1461の保育園に対して、B A B Y J O B (株)が行った調査では、オムツの持ち帰りを続けている都道府県全国ワースト3の中の2位が長野県であり、長野県はこの問題に対しての取り組みが全国的に見ても遅いという結果が出ていた。近年ではコロナウイルスの影響もあり、感染症対策として園で廃棄する市区町村も増えているようであるが、町では情報収集はしているか。

答 こども・健康推進課長

長野県にある333の公立保育所において、園でオムツを処理しているのは10施設であり、感染防止対策や保育士及び利用者の負担

軽減が主な理由である。他に10市町村が園での処分へ見直しを予定しており、見直し予定無しは32、検討中

問 10月に行った保育園保護者向けのアンケートでは、全体の約7割の保護者の方が持ち帰りの廃止を希望しているという結果になっていた。子どもや子育て世代が減ってきている長和町としては、働くお母さんの負担や保育士さんの手間、感

は27市町村の状況である。

染リスクの軽減のためにもこの取り組みを早く取り入れて頂きたいがどうか。

答 こども・健康推進課長

実施の内容を調整し、前向きに検討をしている。いざれにしてもご家庭でのご理解とご協力を頂きたい。アンケートでの意見などについて、結果とともに町HPに掲載した。保育園のお便りでもHP掲載をお知らせする。

高校通学費の補助金額を見直しては金額や制度のあり方も含め検討していく

問 高校に通うお子さんたちの通学事情が厳しいと聞いている。長和町を走っている

るバスはJRバスだが、利用したい時間に合わない、千曲バスの方が料金が安い

等で、家から毎朝家族が武石地域のバス停まで子供を送っている現状がある。帰りは丸子駅までの迎えとなり、部活動をしている子は帰りが遅く送り迎えが大変なため、上田へ引越す家庭もあると聞いている。町はこうした現状を把握しているか。

答 教育長 状況は承知している。高校通学時間のJRバスは上田方面に1便、丸子方面に2便のバスがあるが、千曲バスと比べJRバスの運賃が高くなっているため、町は子育て支援も兼ねて通学費の補助金を交付している。

問 例えば、行きは千曲バスのバス停まで、帰りは丸子

駅から各方面へ小型バスなどで自宅近くまで帰ってこられると良いと思うがどうか。

答 教育課長 町内循環バスで実現可能かどうか、関係者も含めて調査検討している。

問 物価高騰やガソリン代の値上げに伴い、毎日の送り迎えは金銭的にも大きな負担になっている。町から出ている通学費補助の金額を見直しても良いのでは。

答 教育課長 上田市が実施しているような運賃低減バスの運行を、長和町でも考えている。通学費補助の金額や制度の在り方も含めて検討していきたい。

(抜粋)

もつと開かれた議会に。

議会モニター 募集!!

ご意見をお寄せ下さい!!

「議会だよりモニター」の皆様、ありがとうございます。ございました。

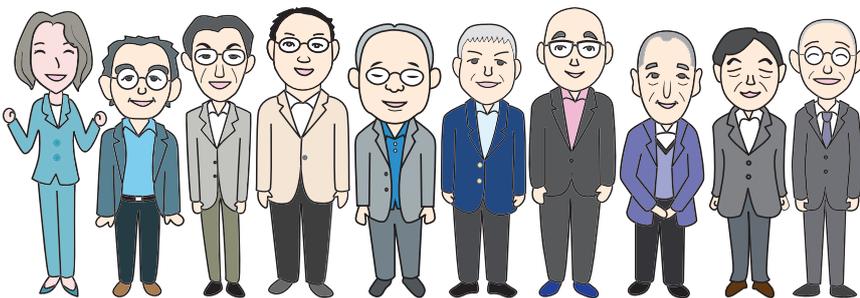
この2年間、延べ31人の町民の皆さまに議会だよりモニターを務めて頂き、想いのこもった建設的なご意見をたくさん寄せて頂きました。本当にありがとうございました。皆さまのご指摘を紙面に取り入れて、「長和町議会だより」の誌面が充実し、読みやすく見やすくなり、少し町民の皆様手に取って頂けるようになったと感じています。

【議会だよりモニター会議】

- 第2期議会だよりモニターの任期が1月31日で終了することを受け、1月11日(水)に「議会だよりモニター会議」を開催し、モニター感想を伺い議会だよりについて懇談しました。
- 「議会だより」を見ているか話すと、若い人もわりと読んでいるそうです。自分の意見も誌面に反映され、見やすくなったと話を聞いてうれしく思いました。
- 議員が町民のお宅を訪問して聞いた困り事や意見、議会からの問いかけなども載せて、町民に把握してもらったらどうでしょうか。
- 議会だよりは、大変意欲的で内容も分かりやすいと思うが、町の基幹産業である観光にもう少しコミットして頂ければと思います。
- 工夫していて感心します。似顔絵を利用したり、分かりやすい語句解説など素晴らしい。多くの町民にモニターをしてもらおうと読む人が増えると思います。
- 興味の無い人が読むよう、外部の人の声などを載せてみてはどうか。工夫することが大切で、課題です。
- 一般の人が読んでいるか、疑問に感じる。読んで頂くためさらに研究を。(抜粋)

【議会モニター】を設置します。「議会だより」に限らず、議会の運営や活動について、ご意見をお願いします。

- 「議会モニター」の皆さんには、可能な範囲で、本会議や委員会を傍聴して頂いて、実際に議会の活動に接し、議会のあり方や運営の仕方、町政の課題に対する取り組み方など、議会に対し要望や提言を行うて頂きたいと考えています。
- 任務Ⅰ(1)可能な日時に、本会議や委員会を傍聴または視聴し、配布されるアンケートに回答、記入する。
- (2)議会だより、議会HP等を閲覧し、意見を提出する。
- (3)議会モニター会議に出席して意見を述べる。
- ★可能な範囲で構いません!
- 定員・任期Ⅱ10名・1年間
- 募集Ⅱ第1回の締切は2月15日(水)です。
- 申し込みⅡ裏面(M2)の申込用紙に記入して、議会事務局までお送り下さい。
- 活動の開始Ⅱ2月28日(火)開会の長和町議会3月定例会からを予定しています。



長和町議会 議会モニター 申込書

太枠の中の項目は、職務の委嘱や連絡の際に使用しますので、必ずご記入ください。

(フリガナ)	()	生年月日	S・H	年	月	日
氏名		年齢 ※1	歳	性別	男・女	
住所	〒 386- 長和町(大門・長久保・古町・和田)					番地
職業						
連絡先	※2	電話(固定)				
		電話(携帯)				
	※3	FAX				
		PCアドレス				
		携帯アドレス				
※1 未成年の方のご応募には、保護者の署名が必要となります。 ※2、※3は、それぞれ1つ以上お書きください。						
志望動機	議会モニターに応募された動機をご記入ください。 (例：町政、議会(議員)活動に興味があるなど簡単で結構です。)					
モニター活動で 配慮してほしいこと	モニター活動をするにあたり、要望がある場合はご記入ください。 (例：会議に出席しやすい時間や曜日、障がいなどによる環境整備の必要など)					

保護者氏名(※本人が未成年の場合に記入)	電話	受付者	受理番号
(フリガナ)			
(自署) (続柄)			

★「議会モニター」の申し込みは、上記申込用紙に必要事項を記入して、議会事務局、または、各支所へお持ち下さい。また、長和町ホームページの議会ページにあるWORDファイル、PDFファイルに記入し、メールでお送り頂いても結構です。お問い合わせは下記へお願いします。

議会事務局 電話：0268-75-2059 / ファックス：0268-68-4139

メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp



渡辺 久人
議員

国民保護法、国民保護計画について

国民保護法における町の役割、責務は 国民保護措置の実施、教育と啓発を呼びかけ

問 「国民保護法」とは、武力攻撃から国民の生命・身体・財産を保護し、国民への影響を最小とするための法律で、町長が行う役割、責務を明らかにする、と定義されているが、責務とはどのような事か。また、それを明らかにしているか。

答 町長 ① 警報の伝達、避難実施要領の策定 ② 救援の実施、安否情報の収集及び提供 ③ 退避の指示、警戒区域の設定、武力攻撃災害への対処 ④ 水の安定的供給その他生活の安定 ⑤ 武力攻撃災害の復旧などの措置で大きな役割を担う。

問 ミサイル攻撃に対し、住民を避難させ救援を行うための、指定された堅牢な施設はあるか。

答 総務課長 堅牢な建物として、役場や各支所、体育館等を指定している。あくまでも他の施設と比べて、堅牢であるということであり、安全性を担保するものではない。

問 弾道ミサイルは、極めて短時間で我が国に着弾することが予想される。山間地である長和町では、地下や堅牢な建物も殆ど無い環境で、どう避難し、行動したら良いか、住民に対しての啓発、防災に関する啓発との連携、学校における防災・国民保護に対する教育は行われたか、また、必要性はないのか。

答 教育課長 国では、ミサイル攻撃に対して、コンクリート造りで頑丈な建物や地下へ避難、建物がない場合には、地面に伏せ物陰などで頭を守るよう呼び掛けている。万が一の事態に備える必要があり、改めて呼び掛けていく。



新たな運営になった「ふれあい食堂」

温泉施設等の指定管理料の総額は

過去5年間の総額は9293万4千円

問 振興公社への温泉施設の指定管理料及び施設修繕費の、過去5年間の総額はどれくらいか。

答 産業振興課長 指定管理料は9293万4千円、施設修繕費は1億3024万6千円、合計2億2318万円である。

問 ふれあい食堂を存続するためには町からの支出が不可欠だが、ふれあい食堂の継続について、どのように考えているか。

答 町長 和田地区におけるふれあい食堂の存在意義は大きく、交流の場所として

の役割を持つことを踏まえれば、維持継続するための方策を町として考えていかなくてはならない。

問 新(株)振興公社には新たな事業の要望がある。食堂も含め、これらの課題について協議を行う予定は。

答 産業振興課長 新規事業の要望や既存部門等、今後、(株)長和町振興公社あり方検討委員会において、株式会社からの変更を踏まえ、組織体制と既存部門の見直し及び新規要望事業について専門家を交えて協議していきたい。(抜粋)



龍野 一幸
議員

中山間地農業の今後について

離農・耕作放棄防止にどう対応するか

国県JA等と連携し支援体制を構築する

問 中山間地等、耕作環境の悪い農地は、離農や耕作放棄が予想される。今後、町は対応をどう考えるか。

答 町長 行政だけで解決は困難。地域全体で検討が必要。営農に支障のある地区の改善は検討していく。多面的関係は建設水道課、中山間関係は産業振興課へ相談してほしい。

問 今後、後継者問題は必ず起こる。助成金など更なる新規就農、営農促進対策も必要ではないか。

答 産業振興課長 助成金などの支援については、新規就農者・米収量減収対策・JA生産部会・農業機械施設等導入など現在の補助を継続していくが、新たな補助は考えていない。

問 「微生物分解施設」や一部団体からも畜産酪農の発展のため「食肉加工施設」の要望が出ているが、必要ではないか。

鳥獣害対策に「食肉加工施設」が必要では 捕獲後の輸送等の課題解決が先である

答 産業振興課長 捕獲後の搬出搬入などの課題が解消されれば、負担も軽減されるが、それら施設に関しては十分な検討が必要である、といった段階である。



山沿いに広がる遊休荒廃地

問 鹿の個体数を減らすために獣害対策専門職員を置くことは考えられないか。

答 産業振興課長 献身的捕獲により1000頭を超える捕獲実績があり、現時点では不要と考える。鳥獣保護管理法があり、駆除まで一連の手続きがあるが町職員がこれらを担当している。

特定(危険)空家取り壊し助成金の増額は

協議会等で助成額の見直しを検討したい

問 今年度空家の実態調査で全貌が判明する。今までの助成額では空家は減少しないのでは。

答 町長 現地調査で537件を確認した。年度末2月に空家等対策協議会を開催し判定を進める。見直しが必要な項目に関しては検討していく。

問 今年度空家の実態調査で全貌が判明する。今までの助成額では空家は減少しないのでは。

答 町民福祉課長 今年度の調査をもとに令和5年度以降審査を行う。特定空き家への助成は、現状、建物等の除却や廃材等処理費用の2分の1、50万円を限度としているが、厳しい財政で



使われなくなった家屋の内部(イメージ)



萩野 友一
議員

長和町が誇る「黒耀石歴史遺産」活用の将来構想について

「黒耀石歴史遺産」の活用の構想は 町の「顔」として住民の誇りとなるものに

問 黒耀石の発掘に関し、30年に渡り調査を続け、「星くそ館」を開館することができた。町は、この成果をどうとらえているか。

答 町長 昭和59年から調査研究が始まった黒耀石原産地遺跡群の、特に星糞峠の縄文時代黒耀石鉱山跡については、平成5年に読売新聞全国版の一面トップを飾り、我が国の人類の歴史を解明する研究のメッカになり得ることが全国に発信された。

小さな町が、史跡公園、研究所、博物館を設置して継続的な調査を支え続けたことは、異例なことかもしれないが、長和町のまちづくりの基本方針に沿ったもの

でもある。この遺跡が国の歴史の中で重要な役割を果たしていたことが次第に明らかになり、国の史跡にも認定された。

地域の住民にとっても誇りとなるその歴史の解明が「星くそ館」という遺跡の保存展示施設の建設として結実したものと受け止めている。

問 「星くそ館」は、町にとって貴重な財産であり、どのように発展させ、活用するかが重要である。町はその方向性についてどう考えているか。黒耀石遺跡全体として、将来に向けての具体的な構想はあるか。

答 教育長 遺跡や博物館等の施設は、世代を超え、地

域を超えて、多くの方々が楽しく学ぶ場として関わることが重要である。生涯学習の場として、その活用の拡大を図っていく。本州最大規模の黒耀石原産地として、男女倉遺跡群も含めて広域的な取り組みについて検討を重ねていきます。



黒耀石鉱山展示施設「星くそ館」を見学

問 今まで培ってきた遺跡活用に關するノウハウを町の資産として受け継ぎ、さらに発展させていくことが必要であると考えているが、具体的な施策は。

答 教育長 遺跡活用に関する

ノウハウは町民参加型の取り組みとして培ってきたもので、その点も高く評価されている。この技術を継承する人材育成に取り組みとともに、今後とも町民全体の支援を賜りたい。

カーボンニュートラルをどうすすめるか 9月に「気候非常事態宣言」を発売

問 脱炭素に向けた町のロードマップは、どのように考えているか。

答 町民福祉課長 今後町が

中長期的に脱炭素を図り、安全かつ回復力のある持続可能な地域を実現するために、潜在能力や可能性について調査し、町に適した事業を定める「地方公共団体

実行計画等」を策定する。**問** 脱炭素のために、庁内に専用の課の設置が必要と考えるが、どうか。

答 総務課長 12月2日に長和町行政改革推進本部を開催し、この件の対応を含めて検討を始めており、来年度中には方針を決めたい。

(抜粋)



原田 恵召
議員

コロナ禍における町の対応について(その2)

子どものワクチン接種は進んでいるのか

5歳から11歳の3回目接種率は29%

問 子供の接種率は、また、どこで接種しているのか。

保育士や教員等は早期にワクチン接種できたのか。

答 **こども・健康推進課長**

5歳から11歳の接種率は11月27日現在、1回目45%、2回目43%、3回目29%の状況である。接種場所は、5歳から11歳の接種は保健福祉総合センターで、4歳以下の乳幼児は依田窪病院で行っている。また、子どもの接種は、依田窪病院の小児科医師により、診察と接種を行っている。

保育士などの接種につきいては、国や県の方針に則り、医療や介護・福祉、保育など生活の根幹を支えるエッセンシャルワーカーか

ら接種を行った。

問 感染症法2類から5類への見直しと、ワクチン接種の一部負担については。

答 **こども・健康推進課長**

国は結核などの危険性が高い2類感染症以上の強い感染対策がとれる位置づけから、季節性インフルエンザや風しんなどの5類感染症への見直しを検討すると表明した。5類となれば、外出自粛要請や就業制限はなくなり、陽性診断後の療養に係る医療費は全額公費負担から一部自己負担に変更になる見込みである。現在、国の全額負担により行われているワクチン接種もインフルエンザなどと同じように接種希望者が費用の

一部を負担する「定期接種」への検討を財務省が要求したとの報道もあった。

要望 5類への変更は時期尚早である。町長からも国へ意見をしていたきたい。

災害の復旧工事はどうなっているのか

本格的な対策を建設事務所に要望している

問 入大門上の4区西側の土砂崩落した箇所は復旧はどうなっているのか。

答 **建設水道課長** 町では区域内の斜面が一部崩落したためシート養生を施したところであり、本格的な対策の実施を上田建設事務所に對し要望している。

答 **総務課長** 現地確認等を行い、行政において検討を進めた。固定資産税は登記地目ではなく現況地目を優先するとされており、この地目の課税については農地以外の地目で以前から評価されている。

問 改めて強く要望していたきたい。

また、災害によって流失した田畑の固定資産税の減免についてはどうか。

問 薪ストーブの購入補助ができないか。

答 **産業振興課長** 近隣の他の自治体(上田市・東御市・青木村・立科町)では、薪ス

トープに対しても補助を行っている。今後、補助の方向で検討していきたい。

問 転入者の中には、地域と積極的に交流しようとする方もあれば、のんびりとした田舎暮らしを希望して行く方もある。まず、窓口で

ある役場で自治会・区について説明し、近所に引越してきたことを告げるよう指導してもらえないか。

答 **企画財政課長** 地区の皆様とより良い関係を構築するため、区への加入を勧めたり、移住者が希望すれば区長への顔繋ぎも行っていい。

(抜粋)



佐藤 恵一
議員

森林の間伐材を利用した温泉の化石燃料併設型薪ボイラー

「木の駅プロジェクト」の設置は

人づくり・組織づくりが最初の段階である

問 近年の化石燃料の高騰により、振興公社の温泉経営を圧迫している大きな原因となった燃料費について、

温泉に「燃料併設型薪ボイラー」を導入し、隣接して「木の駅」を設置することで経営の改善、地域内の経済循環を生むことができると考えるが、町の見解は。

答 産業振興課長 長和町の

山林では手入れの行き届いていない個人所有山林が増えており、里に近い山林などでは山林内に倒木等も多々みられる。現在、上小地域では森林環境譲与税を活用した森林整備の実証事業を実施し、今後の森林整備につながるよう検討を進めている。

木の駅プロジェクトについては、森林ボランティアなどのグループの存在が不可欠である。近隣では諏訪地域や上田市丸子地域などで地区の団体やボランティア団体が活動している。先ず、人づくり・組織づくりを進めていくことが最初の

段階になるのではないかと考える。化石燃料併設型薪ボイラーに関しては、脱炭素に向けての効果的な方策であると思われるので、地域脱炭素移行・再エネ推進事業の一つの施策として考えていきたいと思う。

有機学校給食導入に向け進捗状況は

国の有機農業、有機給食の施策を検討する

問 オーガニック給食は大人

のためのものではなく、体と心をつくる子どもたちのためのもの。一昨年、昨年と一般質問した有機学校給食導入の進捗状況は。

答 教育課長 全国で123

市町村が有機給食を実践し

て、その数は増えている。国も有機農業、有機給食の促進を目的として様々な施策を出してきており、これらの施策をしっかりと検討したい。

問 有機食材に適した野菜に絞るなどの導入が成功事例

と

としてあげられている。学校の給食検討委員会での検討課題はどんなものか。

答 教育課長 生産者、調理現場を含めた学校、行政、保護者が協力し、調理現場の状況や有機給食の先進地の事例などを研究し、互いに理解を深めていかなければならないと考える。

(抜粋)

★ 語句解説 ★

問 木の駅プロジェクトとは何ですか。

答 山中に放置された木(林地残材)を「木の駅」に出荷し、その材を地域で活用し経済活性化を図る取組で、現在は全国100カ所以上の地域で行われている。



里山が荒れてきている……



飯田市「おひさま発電所」を視察

飯田市 エネルギー自治の取り組み



10月19日(水)、気候変動対策の先進地である飯田市において「エネルギー自治の取り組み」について視察を行いました。

9月定例会で「長和町気候非常事態宣言」が発出されたことを受け、議会として、現状を把握し、先行政地域を訪れ、専門的な知識の理解を深めるとともに、今後の長和町における再生可能エネルギー、ゼロカーボン施策についての方向性と可能性を考える視察を行った。

飯田市は、県内でも再生可能エネルギー取り組みの先進地であり、「エネルギー自治先進都市」である。地域や住民が主導して地域のエネルギーの生産・共有・消費に主体的に取り組んでいる。

飯田市では自治公民館活動の歴史があり、市民が自ら自然環境、自然エネルギーについて考えて行動し、ゼロカーボン運

動を推進している。そこに行政が施策や出資を行い、地域住民が全体で利益を享受する仕組みを作るなど興味深い政策を採っている。

地域内でエネルギーを地産地消させる小規模電力網構想や11月環境省の「脱炭素先行地域」に選定されるなど、専門的な話や解説を聞くことができた。今後とも継続して取り組む課題である。(報告：佐藤恵一 議員)

高森町議会の デジタル化 を研修



高森町の「タブレット導入」について研修

タブレット端末使用上の規則、私物化を防ぐなどモラル面での取り決め、また、オンライン会議を行うに当たっての条例改正について行政側とのやり取りなど、詳細な説明があった。

議員からは庁舎外での活用法、書類データの管理やセキュリティ環境などコミュニケーションに基づいた質疑を行い、3グループに分かれ端末操作を実験させて頂いた。

10月19日(水)、長和町議会改革検討特別委員会は、議会ICT推進計画を進めるため、7月の上田市に続き、議員7名と町職員3名で高森町議会を訪れ、研修を行いました。

市川高森町議会運営委員長より、平成30年6月の広島県三次市への行政視察からタブレット端末を導入するまでの、高森町議会のICT化の取り組みについて経過説明を受けた。並行して、高森町議会におけるタ

長和町議会が目的とする町民に開かれた議会を実現するため、効率的な議会運営、デジタル化やペーパーレスによる経費削減(長和町議会での年間使用枚数は実績約5万枚)等に加え、SDGsの推進及び感染対策の観点でタブレット導入を検討してきた。議会では導入・運用コストの最大限抑制が前提で協議し推進して行く予定である。

(報告：龍野一幸 議員)



姫木平 自然の家 と和紙の里



「姫木平自然の家」で話を聞く

井出支配人から説明を受けた。紙漉き体験は現在までに8600人ほど

(2) 和紙の里
今年はお盆の最盛期がコロナ禍で1千人（昨年3千人）と大きく落ち込んだ。八王子市の指定管理費4700万円がなくなったが、10月現在とんとんの収支という。

11月1日（火）、総務経済常任委員会は㈱マウント長和が運営する「姫木平自然の家」と「和紙の里」を視察しました。㈱マウント長和からは、小林社長他3名が出席しました。
(1) 姫木平自然の家
館内を視察後、説明を受けた。八王子市の指定管理から外れたが、コロナ禍で離れていた八王子市の学校の利用はかなり戻ってきたそう。4月～10月の宿泊者は4542人（昨年の合計は6300人）で、夏は小学生、冬は中学生の利用が主であるとのこと。

あり、学校の利用もだいぶ戻ってきているが、子どもの減少に伴い収入も少しずつ減っているとのこと。
食事のソバは好評で、食堂の売り上げのみならず黒字で推移しているとのことであった。紙すき部門は赤字になるが、この施設の存在意義から何とか紙漉きを復活させ健全経営になることが望ましい。後継者の育成が課題である。

（報告：原田恵召議員）

(株)長和町振興 公社の温泉 施設視察



11月1日（火）、総務経済常任委員会は、㈱長和町振興公社からスキー場他が分離された後の、2つの温泉施設を視察し、現場の課題や意見を聞きました。
(1) 和田宿温泉「ふれあいの湯」 来客数はピーク時には年間約7万人、現在は5万人で推移している。施設の老朽化にともなう修繕費が増加する傾向にある。現在修繕中の温泉施設内ドーム雨漏個所等（9月補正で260万円）の状況も視察



「ふれあいの湯」で柳澤社長から話を聞く

した。平成6年建設の温泉施設は来年30周年を迎え、記念事業で集客に結び付けたいとのこと。
利用客は増加傾向にあるが、コロナ禍前の21期にはまだ戻っていない。課題となっているふれあい食堂の経営については令和5年2月頃から新たな体制で本格的に稼働予定である。

(2) 長門温泉「やすらぎの湯」 来客数は前年比27%増だが、コロナ前21期に比べると80%程で、改善の余地はある。入館料のアップについては今のところ影響を感じていない。福祉的な意味合いの温泉として継続性が論じられてきたが、今後は、①若い世代の経営ができる人材育成②指定管理料ありきの運営と施設老朽化による町費負担増にどのように対応していくか、など議会として注視していきたい。

（報告：佐藤恵一議員）



長門児童館 支援員と 懇談会



「長門児童館」で職員から話を聞く

放課後に長門児童館の利用を希望される方には、感染防止上から全員に長門児童クラブへの登録をお願いし、現在は88人が登録、平日は一日平均33・1人の児童が利用している。懇談では、安全面での施設改善の要望に加え、「全国的に児童が関連する事件事故が多い中、安全確保の観点からも支援員・支援補助員の充実が必要。配慮が必要な児童（注目を理解するのが難しいなど）が増えており、児童6人に対し、補助員1人

社会文教常任委員会では委員の資質向上のため、所管する施設の視察研修を実施していますが、第2弾として10月24日（月）に長和町児童館の見学と懇談会を開催しました。

長門児童館の笹澤館長より、児童館・児童クラブの運営状況について報告を受けた後、児童支援員3名の方と懇談を行った。

の配置が理想。専門分野の先生に常時相談できる現場が望ましい」などの意見が出された。

児童支援員は、専門的な職員であり業務も専門性を要するが、現在は派遣社員という処遇。町は、安全面からの施設改善の対応を早急に行うとともに、業務の見直しを行い、職員の処遇変更の検討も必要ではないかと思う。

（報告：田福光規議員）

長和町商工会 と議会の 懇談会



長和町商工会の役職員と懇談

11月22日（火）、役場庁舎に、羽田商工会長、中原副会長、伊東青年部長、赤尾事務局長、岡嶋支援員を迎え、懇談会を行いました。

商工会の会員である中小企業及び小規模企業は、地域経済の発展に大きく寄与してきた。現在は新型コロナウイルス感染症、ロシアによるウクライナ侵攻や円安の影響を受け、一段と厳しい経営環境が続く。長和町では、プレミアム付きいきいき券発行に伴う商工会

への負担金や事業者向け制度資金の利子補給などの支援策を実施し、事業者の厳しい環境に対応してきた。

懇談会では商工会から以下の要望を頂き、商工会活動の重要性を理解するため、また、地域経済の発展に向けた懇談を行った。

- 1、事業者向け融資の利子補給延長
- 2、長和の里いきいき券事業者負担分の町助成制度再延長
- 3、事務局長設置に伴う県補助金の補填
- 4、長和町新規雇用促進助成金の再延長と拡充
- 5、商工会館内外の施設設備にともなう助成

地域経済の発展には、町の多くの事業者が参加している商工会活動の活性化が必要不可欠である。今後も具体的な町の支援が必要であると感じた。

（報告：荻野友一議員）



南部中学校 組合議会 学校見学会



授業を参観しました。

12月21日(水)、依田窪南部中学校において、中学校組合議会による学校見学会が行われ、長和町議会からは中学校組合議会議員の田福、羽田、荻野、阿部の4名が参加しました。

校長先生の挨拶、教頭先生から中学校の現状などをお聞きした後、校内を見学しました。

英語の授業では、1人1台のクロームブックを使ったGIGAスクール学習も行われており、お休みしている生徒も自宅で教室の生徒と同じ授業を受けられているとのこと。

見学を終えて、給食の試食を行った。この日は冬至メニューの日ということで、ソンの付く食材が多く使われた給食。試食の後、栄養士さんとの懇談会も行い、議員からの質問もあった。

コロナ禍により、変わりゆく状況の中、日々対応に追われながらも、教

森田議長の「議会概説」(7)

● 新型コロナ感染症の分類引き下げも検討されています。長和町議会も活性化していきます。

問 「議会(定例会)はどのように進むの?」①

答 長和町議会では、**年4回の定例会(条例)**が3月、6月、9月、12月に開かれる(規則)ことが定められています。期日は町長が決め、議員に**本会議**への出席(参集)を求めます(招集)。

招集を受けて、議会の期間(会期)や会議の順序(日程)、議案などについて**議会運営委員会**で話し合い議会の運営を決めます。本会議は必ず**議場**で開かれます。

● 次回は、開会から概説

職員の方々が工夫しながら子どもたちの生活を支えて、授業や部活動、行事などを行っている様子が見られとても充実した見学会となった。

中学校は校舎の老朽化もあり、今後、施設整備など必要となってくるが、子どもたちが毎日元気に健やかに学習、成長できるように議員一同から全力でバックアップしていきたいとの声が聞かれた。

(報告：阿部由紀子議員)

します。



■ マチイロアプリを入れると、スマホやタブレットでながわまち議会だよりを見ることが出来ます。

マチイロ
まちを好きになるアプリ



★表紙写真の説明★

「おたや祭」に賑わい

今年の1月14日(土)、おたや祭の開始に合わせ、「ながと不動太鼓」の演奏が行われ、豊受大神宮をお参りに訪れた多くの皆さんが聞き入りました。行動制限



がないお祭りは3年ぶり。夜には

花火も上がり、境内や通りはたくさんの方々で賑わいました。



長和町 あの人を訪ねて

— 第15回 —



おぎはら かんさい
荻原 寛齋 さん
(大出)

略歴・活動

長和町(旧和田村)出身。13年間東京で料理を勉強し、実家である「杉の屋」へ戻る。ピザ・パスタ・デザートなどイタリア料理を担当。

広報常任委員会が町民の皆様を訪ねて、意見や活動をお聞きします。

問 今はどのような仕事をしていますか？

答 和田峠へ向かう途中にある「杉の屋」というお店で働いています。両親と一緒に営業しており、自分は主にピザやパスタを作っています。また、少しですが畑で野菜を作っています。料理はお店で食べていただくだけでなく、テイクアウトやお弁当の注文、宴会、出前、特注でケーキを作るなど、出来る範囲で色々なことをやっています。

問 「杉の屋」を今後どうしていきたいですか？

答 まず「杉の屋」はこのまま残したいです。建物を建て替えたことは考えていますが、例えば自分の得意な洋食だけに限定などしてしまうと、今までのやり方に慣れ親しんできた地域の方々にとっては、却って利用しにくくなる気がしています。それよりも他の場所に新しく店舗を増やしたいですね。

問 町はこれからどのようになる、また、どのように動いていくべきだと考えていますか？

答 このままでは人口が少なくなっていく、町として存続していくことも困難になるのではないかと懸念しています。自分も東京に出てしまっていたから大層なことは言えませんが、和田中が廃校と聞いた時は本当に切なかつた。けれども、一度大都市に暮らしてきた視点から言えば、この町は可能性の塊だと思っています。現在使われていない土地や農地がたくさんあるからです。住む人が増えれば町で出来ることは色々あります。現代ではインターネットやSNSの発達により、都会に出ていなくても仕事をしやすくなっています。むしろ、特に若い人には、本当に自分のやりたいことを見つめ直して欲しい。大学に行つて優良企業に就職するしかないという時代は終わりました。自分のやりたいこととお金を稼ぐことはどこでも出来る可能性があります。町はぜひそのような若い人を応援する体制、これから住む人を増やし安心して住めるような方法を模索して欲しいと思っています。自分も長和町に住む一人として今後の世代を盛り上げていければと思います。

長和町議会議員から 町民の皆様へ

議会から町民の皆様へのお知らせや議員の考えなどを掲載しています。第69号は、**渡辺久人**議員です。

▼町は「長和町景観計画」の策定に着手しました。

▼森の緑、清らかな水、歴史ある町並みの保全、産業関係の土捨て場、資材置き場、空き家、荒廃農地など生活環境の整備、屋外広告物などを改善することが目標になります。▼さらに、気候非常事態を宣言し、2050年までに脱炭素を目指すことも表明しました。脱炭素社会の実現には一人ひとりのライフスタイルの転換が重要です。エネルギーの節約、3R(リサイクル・リユース・リデュース)、食品ロス減、環境保全(大気・水質汚染防止など)、また、ゴミ拾いなどの活動に参加するなど、できるところから「ゼロカーボンアクション」に取り組みしましょう。

ながわまち 議会だより

広報常任委員会

委員長 佐藤 恵一
委員 阿部由紀子
田福 光規
原田 恵召
渡辺 久人
編集 森田 公明

■ 町政や議会、「議会だより」に関するご意見や感想をお寄せ下さい。

■ 長和町議会事務局 〒386-0603 長野県小県郡長和町古町 4247-1

電話：0268-75-2059 / FAX：0268-68-4139 / メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp

長和町議会 議会モニター 申込書

太枠の中の項目は、職務の委嘱や連絡の際に使用しますので、必ずご記入ください。

(フリガナ)	()	生年月日	S・H	年	月	日
氏名		年齢 ※1	歳	性別	男・女	
住所	〒 386ー 長和町 (大門・長久保・古町・和田)					番地
職業						
連絡先	※2	電話 (固定)				
		電話 (携帯)				
	※3	FAX				
		PCアドレス				
		携帯アドレス				
※1 未成年の方のご応募には、保護者の署名が必要となります。 ※2、※3は、それぞれ1つ以上お書きください。						
志望動機	議会モニターに応募された動機をご記入ください。 (例：町政、議会(議員)活動に興味があるなど簡単に結構です。)					
モニター活動で 配慮してほしいこと	モニター活動をするにあたり、要望がある場合はご記入ください。 (例：会議に出席しやすい時間や曜日、障がいなどによる環境整備の必要など)					

保護者氏名 (※本人が未成年の場合に記入)	電話		受付者	受理番号
(フリガナ)				
(自署) (続柄)				

★「議会モニター」の申し込みは、上記申込用紙に必要事項を記入して、議会事務局、または、各支所へお持ち下さい。また、長和町ホームページの議会ページにあるWORDファイル、PDFファイルに記入し、メールでお送り頂いても結構です。お問い合わせは下記へお願いします。

議会事務局 電話：0268-75-2059 / ファックス：0268-68-4139
 メール：gikai@town.nagawa.nagano.jp